

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-20-2
事業名	津波避難タワー整備事業
事業費	232,489千円（国費174,367千円）
事業期間	平成25年度～平成27年度
事業目的	避難困難が想定される川口地区及び周辺（最大想定人数134名分）の方のための津波の及ばない高台（緊急避難場所）を整備するもの おいらせ町震災復興計画 P19 3-3-③ 避難所・避難路の検証と避難所運営の充実 「津波発生からできるだけ短時間で避難が可能となるよう緊急避難所を整備」 おいらせ町津波避難計画 P29 第7章津波防災対策 1 津波避難タワーの整備
事業地区	おいらせ町 明神下地区
事業結果	平成25～26年度 設計 平成26～27年度 工事 工事概要：鉄筋コンクリート造4層2階建、延床面積171.91㎡、避難室床面積134㎡、収容人数134人、床面高9.8m（海拔23m）、
事業の実績に関する評価	<p>最大浸水想定では明神山に押し寄せる可能性がある津波の高さは5.8mであるが、波のせり上がりを考慮し、4mの余裕高をもって避難室の床面高9.8mを確保した。津波及び津波漂流物に対する強度を持った躯体、津波の波力を受け流すため吹き抜け構造とした。指名競争入札により契約相手方を選定しており、事業費は適正なものとなっている。さらに、ソーラー照明、停電時対応のガス発電機その他、必要な備蓄品を整備した。</p> <p>津波避難タワーは建設前後に対象地区住民等への説明を行い、竣工後は対象地区及び関係者への説明会を実施した。川口地区から津波避難タワーまでの昼と夜間の避難検証を町職員により行い、検証結果について川口地区住民に説明した。</p> <p>竣工後は定期的に一般公開と川口地区や町による防災訓練を実施。防災訓練でタワーに避難した川口地区の方々からアンケートや意見聴取を行うことで更に必要な備蓄物資を追加するなどしている。また、精神障がい者の団体や高齢者の見学、その他様々な団体の見学を受け入れており、感想などを聞いている。平成28年3月11日には最大想定津波が襲来した際のライフライン断絶やタワーが孤立することを想定し、翌朝までの宿泊訓練も実施し、参加者との意見交換を行うことで、タワーの活用方法や最低限必要な物資の追加等を行い、いざという時の実践的施設として、また防災意識の醸成を担うシンボルとしても有効活用されている。</p>
事業担当部局	まちづくり防災課 電話番号：0178-56-2111（代表）

添付資料 別紙3 津波避難タワー 概要

おいらせ町 明神山防災タワー 概要

施設概要

- ・所在地 青森県上北郡おいらせ町松原 1 丁目 73-460
- ・構造 鉄筋コンクリート造4層2階建て
- ・避難階(2階) 延床面積 171.91 m²(床面積 134 m²) 収容人数 134 人
- ・避難階床面高さ 9.8m(海拔 23m)
- ・総事業費 約 2.3 億円 ・竣工 平成 27 年 12 月 24 日
- ・財源 東日本大震災復興交付金(基幹事業)3/4+地方負担(震災復興特別交付税措置)

※大津波避難及びタワーの考え方…津波からの避難は、津波の及ばない場所(浸水域外)に位置する大津波避難場所までの避難を基本としております。明神山防災タワーは浸水域内に位置し、大津波避難場所までの避難が困難な方々のための緊急避難施設(場所)となります。

仕様

○避難階の床面高

避難スペースの床面の高さは、想定浸水深+4mの余裕高を確保しています。
(+4mとは、津波が建物に当たった際の、せり上がりの最大値です)



○階段

タワーの両端に2か所階段を設置、夜間はソーラー照明が入口を灯します(停電時も点灯)。

想定浸水深 5.79m

○津波への対応

タワーの下層部分は壁のない吹き抜け構造で、波力を受け流します。

災害時のタワーへの入り方



震度5弱以上の揺れでキーボックスが解錠されます。

(震度5弱以上で大津波発生の可能性有)



キーボックスの中にはタワーのカギが入っています。このカギは階段及び避難室のマスターキーです。



取り出したカギで階段の鍵を開け、中に入ることができます。

※タワーのカギは役場のほか、川口町内会と明神下町内会で所有しています。

◎避難室の主な機能

○ガス発電機で停電対策



2 台の発電機で停電時も避難室内の電気を確保します。

○倉庫に備蓄品

倉庫には乳幼児や高齢者にも配慮した食料品や日用費を備蓄しています。

主な備蓄品

- ・水
- ・食料
- ・毛布
- ・生理用品
- ・哺乳瓶
- ・粉ミルク
- ・発電機
- ・トイレ用消臭凝固剤
- ・エアーマット他



◇無線機・避難室の説明書を設置

無線機や避難室の取り扱いがわかるように出入口に説明書を設置しています。



○女性等に配慮した避難スペース



収納しているパーティション（間仕切り壁）で避難室を仕切ることができ、必要な方に配慮することができます。

○階段の夜間対策



階段の全てのステップには、夜間発光する黄色い蓄光材を設置。また、階段の入口と出口（避難室ドア前）には停電時も光るソーラー照明灯が設置されています。

